

朝会のお話

郷土歴史館

おはようございます。

今日は新しくできた港区郷土歴史館のお話をします。郷土歴史館は、医科研のところにある「ゆかしの森」の中にできました。医科研のあるところの手前の建物です。あの建物は、もとは公衆衛生院という施設で、昭和13年、今からちょうど80年前に建てられました。内田祥三（よしかず）さんと言う有名な東大の教授が設計したとても立派で貴重な建物なので、壊すことなく、もとの建物はそのままにして、中を地震に強くしたり、エレベーターを付けたり、バリアフリー化をしたりしました。

11月1日にその「ゆかしの森」の中に港区郷土歴史館がオープンしました。開館式には、白金小の6年生が港区の子供を代表して参列しました。式の中では、お祝いの言葉を言ったり、テープカットをしたりしました。その後、最初の見学者として、歴史館を見て回りました。校長先生も見て回ったのですが、昔のものがたくさん展示してありました。徳川家康が書いた手紙や昭和の暮らしを再現したところ、ミンククジラの標本もありました。建物からも歴史を感じます。入ったところの中央ホールなどは映画やテレビの撮影に使えるそうです。

歴史館は、港区に住んでいる小学生は無料です。お休みの日にお父さんやお母さんと一緒に行ってみてください。おじいちゃんやおばあちゃんも懐かしいものがたくさんあるので、喜ぶと思います。カフェもあって、ソフトクリームがおいしかったです。きなこやさつまいものトッピングもできます。

学校のそばに、こんなに素晴らしい施設ができました。たくさん利用して、たくさんのことを学んでほしいと思います。

ただ一つだけ注意があります。歴史館は勉強をしに行くところでは遊びに行くところではありません。行ったときは、走ったり騒いだりしないように気をつけましょう。

さあ、いよいよ今週の金曜日と土曜日は学芸会です。皆さんの全力の演技を期待しています。練習、がんばってください。

それでは、学芸会を楽しみに、今週も元気に過ごしましょう。